

令和6年度 事務事業評価シート（１）

[令和5年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	難病患者支援事業			事業番号	011-218
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	保健医療課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 16 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	難病の患者に対する医療等に関する法律（難病法）		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、各区保健センター				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	難病患者及び患者家族（堺市特定医療費（指定難病）受給者証交付件数：R6.3.31現在7,487人）	対象数	7,487	単位	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	難病患者とその家族が生活の質を向上し地域で安心して暮らすことができるよう、療養生活における不安や悩みが軽減できるよう支援する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	○個別療養支援 指定難病341疾病（令和6年4月現在）のうち、重症化するリスクの高い神経筋難病6疾病を本庁課で集中管理し、その他の疾病については各保健センター保健師による個別療養支援等を実施する。 ○難病支援連絡会 市内の医療・保健・福祉等の難病関係支援者間のネットワーク構築を図り、一層の連携強化を推進する。 ○研修会等 療養支援に携わる保健師等専門職の育成を目的に開催する。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）					
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
11 難病患者のうち神経筋難病6疾病について、療養状況を把握のうえ、関係機関と連携している患者の割合	%	目標値	100	100	100	100
		実績値	100	100		
		達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由		指定難病の中でも最も重症化するリスクの高い神経筋難病6疾病の患者について、療養状況を把握のうえ、関係機関等と連携することで、患者とその家族の療養生活における不安等が軽減できることに繋がるため			
目標値の設定根拠・算出方法		指定難病患者のうち神経筋難病6疾病の療養状況を把握している患者の割合				
12 活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標	
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	件	目標値	—	—	—	
		実績値	4,564	2,545		
		達成率	—	—		
当該指標を選定した理由		難病患者に対し、より多くの機会でもって面接・患者訪問を行うことで、療養生活における不安や悩みを解消し、生活の質の向上につながり、地域で安心して暮らすことができることに繋がるため				
目標値の設定根拠・算出方法		罹患している疾病や状況・状態によって面接時間や必要回数が異なるため、目標値の設定になじまない				

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	難病患者支援事業	事業番号	011-218
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費（a）	9,323	9,501	9,920	9,447	11,230
13	財源内訳					
	国支出金	1,412	1,412	1,412	1,412	1,412
	府支出金			0		0
	市債			0		0
	その他（ ）			0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源	7,911	8,089	8,508	8,035	9,818
14	人件費（b）	16,760	18,490	18,400	18,400	8,100
15	年間経費（c）=（a）+（b）	26,083	27,991	28,320	27,847	19,330

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
		R5	決算				R5	決算		
16	報酬	R6	予算	6,876	5,464	役務費	R6	予算	12	12
		R5	決算	6,936	5,524		R5	決算	12	12
	職員手当等	R6	予算	1,344	1,344	使用料及び賃借料	R6	予算	0	0
		R5	決算	2,596	2,596		R5	決算	7	7
	報償費	R6	予算	74	74	負担金、補助及び交付金	R6	予算	8	8
		R5	決算	151	151		R5	決算	30	30
	旅費	R6	予算	1,006	1,006		R6	予算		
		R5	決算	1,370	1,370		R5	決算		
	需用費 消耗品費	R6	予算	127	127		R6	予算		
		R5	決算	128	128		R5	決算		
		R6	予算				R6	予算		
		R5	決算				R5	決算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和4年度	令和5年度
17	① 個別療養支援件数（面接・訪問）	件	4,564	2,545
	② 上記①にかかる年間経費	千円	10,780	9,180
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	2,362	3,607
備考（算出についての説明等）		難病患者支援担当（正職3名（20%×3名）、会計年度非常勤2名（60%×2名）で積算		

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	本事業は、難病患者とその家族が療養生活における不安や悩みを解消し自立を促す支援を行うために必要であり、市内の医療・保健・福祉等の難病関係支援者間のネットワーク・支援体制の構築を図ることにより、難病患者とその家族の療養生活の質の向上と難病患者への多角的な支援の提供ができた。新型コロナウイルス感染症が流行した令和4年度までは、感染リスクの高い患者宅への家庭訪問が制限され、電話対応となることがほとんどであったが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、以前のように療養支援の方法を電話から家庭訪問とし、時間をかけた丁寧な療養支援に戻した影響で支援件数が減少した。
----	--

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	難病患者に対し訪問等による支援に加え、難病患者支援関係機関の連絡会や保健師等専門職への人材育成研修の開催を通じて、難病患者とその家族が生活の質を向上させ、地域で安心して暮らすことに貢献できた。 また、難病患者支援センターや各区保健センターをはじめ、各関係機関との難病患者支援のネットワーク構築により、連携・支援体制の強化・充実に寄与したものとする。
----	---